

平成 19 年 3 月 23 日

各 位

会社名 株式会社ほくほくフィナンシャルグループ
代表者名 取締役社長 高木 繁雄
本店所在地 富山市堤町通り一丁目 2 番 26 号
コード番号 8377 (東証第一部、札証)

NTT データ地銀共同センターとの共同開発に関する基本契約の締結について

当社子会社の株式会社北陸銀行(頭取 高木 繁雄)と株式会社北海道銀行(頭取 堰八 義博)、および株式会社横浜銀行(頭取 小川 是)の3行は、平成 19 年 3 月 23 日、株式会社NTTデータ(社長 浜口 友一)との間で同社が構築・運営する地銀共同センターとの共同開発に関する基本契約を締結しましたので、下記のとおりお知らせします。

この基本契約の締結により、今後は、北陸銀行、北海道銀行、横浜銀行の3行にとどまらず、地銀共同センターに参加している地方銀行 11 行(注 1)を含めた合計 14 行でもシステムの共同開発をすすめていくことが可能となり、コストメリットにより捻出した経営資源を戦略的な投資に充当していきます。

なお、これを機に 14 行間におけるシステム以外の業務上の連携についても積極的に検討していきます。

(注 1) 青森銀行、荘内銀行、岩手銀行、千葉興業銀行、北越銀行、福井銀行、京都銀行、池田銀行、四国銀行、西日本シティ銀行、愛知銀行 【銀行コード順】

記

1. 経緯

- (1) ITの戦略的・効率的な活用により、優れたサービスを迅速に提供することが金融機関にとって喫緊の課題となっている環境の下、北陸銀行、北海道銀行、横浜銀行の3行は、平成 18 年 3 月にシステム共同利用に関する基本契約を締結し、その後、具体的な協議を経て、平成 23 年 5 月のスタート(北陸銀行および北海道銀行)をめざし、現在その開発を進めています。
- (2) 株式会社NTTデータが構築・運営する地銀共同センターは、平成 16 年 1 月に京都銀行へサービス提供を開始したのち、現在までに参加銀行数は 11 行(うち、サービス利用開始銀行数は 6 行)へ拡大しています。
- (3) 北陸銀行、北海道銀行、横浜銀行の3行が構築する「共同利用システム：名称＝MEJAR(メジャー)(注 2)」は、地銀共同センターで使用しているアプリケーション(BeSTA®)を適用して構築することから、地銀共同センターとの共同開発が可能となり、参加行 14 行のコストメリットを更に拡大させるべく、このたびの基本契約の締結に至りました。

(注 2) MEJAR: Most Efficient Joint Advanced Regional banking-system (最も効率的な先進的¹地方銀行共同システム)の略

2. 開発内容ならびに運営体制

- (1) 共同で開発する主な内容については、銀行業界に共通する法制度変更や外部金融センターのシステム変更に加えて、商品・サービスならびに事務改善などのベースとなる機能についても対象とします。
- (2) 共同開発の決定にあたっては、北陸銀行、北海道銀行、横浜銀行の3行を代表する銀行、地銀共同センターを代表する銀行および株式会社NTTデータが参加する共同開発に関する協議会(仮称:「地銀共同 - 3行共同開発協議会」)を設置して、今後、具体的な協議を定期的に進めていくものとします。

以 上

本件に関する照会先

北陸銀行	総合企画部総合企画グループ	TEL	076(423)7111
北海道銀行	経営企画部広報室	TEL	011(233)1005